

整理番号		152 事務事業評価表 令和5年度実施事業				部長	課長	係長	担当者

事業名	都市間交流事業				担当課	協働まちづくり課				
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち				担当係	協働推進係			
施策項目	6	国内・国際交流				計画期間	令和5年度～令和7年度			
主な取組	1	姉妹都市・友好交流都市等との交流の継続・充実				事業区分	その他			
予算科目	会計	款	項	目	大事業					
	一般	2	1	13	都市間交流事業					
目的と方針【PLAN】	市の活性化や人材育成、関係人口の増加に向け、姉妹都市や友好交流都市との交流の継続・充実を図るほか、グローバル化のさらなる進展に対応し、多くの市民が英語に親しむ環境の整備、多文化共生のまちづくりを進めます。									
事業概要【PLAN】	姉妹都市・友好交流都市等との相互交流を促進し、継続した友好関係の構築と市民間交流等の促進を図ります。									
対象【PLAN】	市民 姉妹都市・友好交流都市 伊達市国際交流協会				意図【PLAN】	姉妹都市・友好交流都市の市民との相互理解と親善・友好を深め、それぞれの地域の発展のために寄与する。				
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	国際化に対応できる人材を育成し、また異文化を理解し、多文化共生社会の構築を目指す。行政レベルの交流から市民レベルの交流に広げ、事業の継続・発展を目指すとともに、市民間の交流の活性化を図る。									
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)	
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0				
	都道府県支出金	千円		0	0	0				
	地方債	千円		0	0	0				
	その他	千円		0	0	482				
	一般財源	千円		2,581	1,130	3,749				
	事業費合計	千円		2,581	1,130	4,231				
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】										
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
姉妹都市、友好交流都市等との相互交流人数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	150	150	150	150	150		
			実績値	126						
			達成率	84.0%						
(2) チェック項目による評価【CHECK】										
	評価視点				評価の結果					
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				姉妹都市・友好交流都市との相互交流の促進が、市の認知度の上昇や本市特産品等の購買促進につながるため必要性が高い。					
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類となったことにより、これまで制限されていた交流事業が徐々に活発になってきているため、目標達成の期待度は高い。					
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				交流事業の内容について、オンラインツール等も活用し、必要最低限の費用で最大限の効果が得れるものとするよう努めた。					
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】										
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		ここ数年新型コロナウイルスの影響により、国内外の姉妹都市・友好交流都市との直接交流の機会が減少してしまったが、今年度より、両市町村間の友好交流を再開したため、今後も継続して交流を図る。 国際姉妹都市のリヴィア市との交流は今後の関係継続と相互交流の実施等に向けて引き続き検討を進めていく。						

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	英語が溶け込むまちづくり事業					担当課	協働まちづくり課				
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち					担当係	協働推進係			
施策項目	6	国内・国際交流					計画期間	令和5年度　～　令和7年度			
主な取組	2	英語に親しむ環境の整備					事業区分	直営			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	一般	2	1	8	英語が溶け込むまちづくり事業						

目的と方針 【PLAN】	市の活性化や人材育成、関係人口の増加に向け、姉妹都市や友好交流都市との交流の継続・充実を図るほか、グローバル化のさらなる進展に対応し、多くの市民が英語に親しむ環境の整備、多文化共生のまちづくりを進めます。	
-------------------------	---	--

事業概要 【PLAN】	国際交流員により、認定こども園や保育所、幼稚園、小中学校などでの英語体験活動の実施する。また、市民を対象とした英語体験イベントや各地域における出張英語講座を開催します。
----------------	--

対象 【PLAN】	英語に触れる機会が少なかった市民	意図 【PLAN】	「英語」に対する抵抗感の解消、外国文化への興味関心を高める。
--------------	------------------	--------------	--------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	・日本語にも精通した英語圏の外国人が直接市民と接する機会を設けること。 ・市民が英語や外国文化に興味を持ってもらうようになるための仕組みをつくること。
----------------------	--

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	668	695	675			
	一般財源	千円	10,195	11,004	11,761			
	事業費合計	千円	10,863	11,699	12,436			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
英語体験イベント、英語講座への参加者数	人	実績値が目標値	目標値	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700
		以上と	実績値	3,546				
		なること	達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	国際交流員による事業について、市民より事業頻度の増加等の要望もある。また、外国人住民の交流の場の提供にも貢献しており、市民ニーズや社会的需要が高いことから事業優先度も高い。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	事業後に実施している参加者アンケートにおいても多くの好評をいただいております、事業参加者数についても徐々に増加傾向にある。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	使用する教材等を交流員自身による手作りのもので対応するなど工夫を重ねており、一事業における費用も抑えることができている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	国際交流員により企画・運営を行っており、外国人ならではの視点から、これまでに無かったような新しい事業の展開ができています。 徐々に事業への参加者は増えてきているが、国際交流員及び国際交流事業の認知度は低いと感じるため、今後も引き続き周知広報に努めていく。
------------	----	-------------------------	--

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	英語が溶け込むまちづくり事業（再掲）					担当課	協働まちづくり課				
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち					担当係	協働推進係			
施策項目	6	国内・国際交流					計画期間	令和5年度　～　令和7年度			
主な取組	3	多文化共生のまちづくり					事業区分	直営			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	一般	2	1	8	英語が溶け込むまちづくり事業						

目的と方針 【PLAN】	市の活性化や人材育成、関係人口の増加に向け、姉妹都市や友好交流都市との交流の継続・充実を図るほか、グローバル化のさらなる進展に対応し、多くの市民が英語に親しむ環境の整備、多文化共生のまちづくりを進めます。
-------------------------	---

事業概要 【PLAN】	国際交流員により、外国人を対象とした日本語講座を開催するほか、外国人と市民との交流の場を創出する。 また、英語版広報紙等により、外国人の視点での市の魅力や生活情報等を発信します。
----------------	--

対象 【PLAN】	英語に触れる機会が少なかった市民	意図 【PLAN】	「英語」に対する抵抗感の解消、外国文化への興味関心を高める。
--------------	------------------	--------------	--------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	・日本語にも精通した英語圏の外国人が直接市民と接する機会を設けること。 ・市民が英語や外国文化に興味を持ってもらうようになるための仕組みをつくること。
----------------------	--

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	668	695	675			
	一般財源	千円	10,195	11,004	11,761			
	事業費合計	千円	10,863	11,699	12,436			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
日本語講座、外国人と日本人との交流イベントへの参加者数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	200	200	200	200	200
			実績値	195				
			達成率	97.5%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	イベント事業においては参加定員程度かそれを超える応募が寄せられている。また、外国人住民の交流の場の提供にも貢献しており、市民ニーズや社会的需要が高いことから事業優先度も高い。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	事業後に実施している参加者アンケートにおいても多くの好評をいただいております、事業参加者数についても徐々に増加傾向にある。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	英語版広報紙の作成についてはオンラインでの公開に移行したことにより紙面印刷に係る費用の削減ができています。また、イベント事業については一度用意した物品を再度使用できるものであり、実施に係る費用は大きく抑えられている

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	イベント事業については非常に好評であり、多くの市民と外国人住民との交流の機会となっている。また、英語版広報紙についてはオンラインでの公開としたことにより、より多くの方に迅速に情報を伝えることができている。新規での事業参加者が少ないため、引き続き周知広報に努める。
------------	----	-------------------------	---